

参考資料

県内での放射性物質の検査状況等について

富山県農林水産部

1. 県内でのモニタリング状況

(1) 環境放射線、上水道や降下物(雨・ちり)の調査(実施機関: 県環境科学センター)

- ・ 現在のところ異常な数値は検出されておられません。

(調査結果は、随時、県ホームページで公表しています。)

○直近の調査結果: ①環境放射線(7/9 現在) 0.047~0.077 マイクロシーベルト/時

②上水道及び降下物の放射性セシウム等は検出されず

(2) 航空機モニタリング調査※(文部科学省が全国で実施し、県内は H23. 10 に調査)

- ・ 県内全域において、地表面から 1m 高さの放射線量は、通常の世界の環境放射線のレベルの範囲内(殆どの地域で 0.1 マイクロシーベルト/時以下)でありました。(通常の世界のレベルは 0.02~0.2 マイクロシーベルト/時)

(調査結果は、文部科学省ホームページで公表しています。)

**富山県でのモニタリング状況**

文部科学省からの委託を受けて、  
県環境科学センター(射水市)で調査を強化

**【緊急時調査】(大震災以降)**

- ① 空間放射線量 (365日24時間)
- ② 上水道 (年1回→ 毎日→12/28以降3月に1回)
- ③ 降下物 (月1回→ 毎日→12/28以降月に1回)



**富山県でのモニタリング状況(つづき)**

**1. 環境放射線モニタリングポストの増設**  
(1ヶ所→9ヶ所(2ヶ所整備中))

- ① 高岡厚生センター氷見支所
  - ・ 志賀原発から 3.2 km
- ② 新川土木センター入善土木事務所
  - ・ 志賀原発から 7.0 km その他 6 基

→ **放射線の調査体制の強化**

**2. 放射性物質分析機器の増設(1台→3台)**

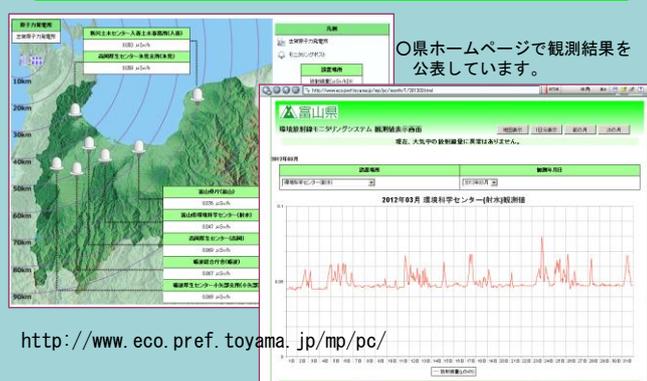
- ① 県環境科学センター(射水市)に 3 台

→ **放射性物質の分析体制の充実**



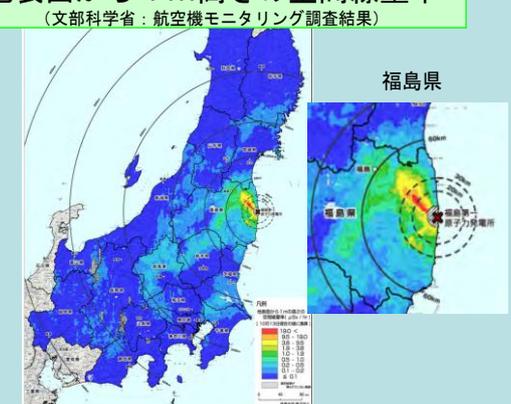
**環境放射線モニタリング結果の公表**

○県ホームページで観測結果を公表しています。



<http://www.eco.pref.toyama.jp/mp/pc/>

**地表面から 1m 高さの空間線量率**  
(文部科学省: 航空機モニタリング調査結果)



※航空機モニタリング調査の概要: ヘリコプターに高感度の放射線検出器を搭載し、上空の測定値から、地表面の放射線量等を推定

## 2. 農畜産物検査

富山県は、国が放射性物質の検査を指示した 17 都県には含まれていませんが、県産農畜産物の安全性を確認し、県民のみなさんに安心していただくため、県独自に牛と米について放射性セシウム検査を行っています。

(1) 23 年産米 (H23. 8 から 9 月に実施)

- ・ 検査したすべてにおいて放射性セシウムは検出されていません。

【検査対象】・ 収穫前の「てんたかく」: 17 点 (概ね市町村単位)

- ・ 収穫後の「てんたかく」、「コシヒカリ」: 76 点 (38 点×2 品種)  
(概ね旧市町村単位)

(2) 牛 (H23. 8 月から継続中 (H24. 7. 10 現在))

- ・ 県内の食肉処理場に搬入された県内産 46 頭、県外産 69 頭を検査した結果いずれも暫定規制値を超える放射性セシウムは検出されていません。

富山県では、平成23年産米の早生品種「てんたかく」と「コシヒカリ」について、県下全域で合わせて93ヶ所の放射性セシウムの調査を実施し、すべて **不検出** でした。

### ◇調査概要

【収穫前調査】早生品種「てんたかく」を収穫前に調査することで、いち早く県産米の安全性を確認  
・ 調査地点: 17 点 (市町村毎に 1 点程度)

【収穫後調査】本県主要品種の「てんたかく」、「コシヒカリ」を出荷前に調査し、県下全域の安全性を確認  
・ 調査地点: 各品種について 38 点  
(旧市町村毎に 1 点程度)

※ゲルマニウム半導体分析器で厚生労働省策定の分析マニュアルにしたがって分析したもの

## 肉牛の検査

汚染された稲わらが全国的に流通したことなどにより、県内の食肉センターで処理される肉牛を検査します。  
8月1日から実施しています。

県内産は、  
1 農場 1 頭の「全戸検査」  
(個々の農場は同一飼養環境ですので 1 農場 1 頭にしました。)

県外から搬入された牛は、  
「全頭検査」  
(県外での飼養環境を確認できないため全頭を対象にしました。)

## 3. 今後の対応

県では、原発事故発生以降、環境放射線を調査するモニタリングポストやゲルマニウム半導体検出器を増設するなど、調査分析体制を強化しています。

これまでの調査等では異常な数値は検出されていませんが、引き続き、県内での環境放射線等の調査や全国的な検査結果等に十分注視するとともに、万一、これら検査結果等に異常な数値が出た場合には、速やかに県産農産物等の検査を実施していきたいと考えています。